



6cm×6cm 12cmφ 15cmφ それは心の宇宙

植村公雄 展

2023年9月2日(土)～30日(土) 12:00～18:00 *土・日曜日のみ開催 おもしろかん 桜針・谷戸のギャラリー



- A: 水・命・躍動
- B: standing tall
- C: 襟巻きをした人
- D: 未来が見える
- E: 海を前にして～銚子～
- F: 風の子
- G・H・I: 心の宇宙 (INNER COSMOS) シリーズより

植村公雄／略歴 ● 東京、文京区に生まれる。(1949) ● 多摩美術大学彫刻科卒業。(1972) 建畠覚造氏に師事する。● Maryland Institute of Rinehart 彫刻大学院修了。(1980) Norman Carlberg 氏に師事する。● 米国メリーランド州ボルティモアに住む。(1978～1980) ● ニューヨークに住む。(1980～1983) ● 帰国後、フジテレビギャラリーにて個展。テレビ美術館に出演。(1986) 以後多くのパブリックアートに関わる。● 銚子駅前広場、国道365号篠立パーキングエリア、まなびパークたじみ庭園、春日井市民病院中庭、いなべ市ふじわら幼児園芝生広場等にモニュメント設置。ファール立川ギャラリーロード、各地のマンション、ホテル等に作品設置。その他、有田焼陶板壁画(ニッタビル・名古屋)、都立小石川高校同窓会85周年記念賞のためのブロンズによるトロフィー制作など。● 紙(6cm×6cm)によるレリーフ“心の宇宙”シリーズ制作を1995年より始め、その数2020年に2020点に達する。その後、木、金属による円形(12cmΦ、15cmΦ)のレリーフ制作をスタートさせる。● 三浦市尾上町に住む。(2018～2022)2022年春より横須賀市長浦町在住。

今、私の作品にこうあって欲しいと思うこと、思いつくままに……。

深刻ぶっていないこと。— 親しみやすいこと。— 何の意味もないこと。— 重くないこと。— 軽くないこと。— 強過ぎないこと。— 弱くないこと。— 仰仰々しくないこと。— 難解でないこと。— さりげないこと。— 尊大でないこと。— いじけていないこと。— 堂々としていること。— 凜としていること。— 毅然としていること。— 理屈っぽくないこと。— ユーモアを知っていること。— 命が輝いていること。— 無限の秘密を持っていること。— 淡々としていること。— 静かに呼吸をしていること。— そして — ただそこに在ること。(1994)

The wind is blowing through the foliage and the branches of the tree flashing with light. I have to discover the inner life of the tree, the wind, the air, the earth, which includes even the death. I will gaze, speak, listen, think and continue to make my sculpture until I die in this infinite time, to reach the truths. (1980年 Rinehart 彫刻大学院卒業時の thesis より)

- 会期：2023年9月2日(土)～30日(土) 12:00～18:00 *土・日曜日のみ開催
- 会場：おもしろかん按針・谷戸のギャラリー(東逸見町1-51/逸見駅下車5分)
- 主催：コロボックルの会 ● プロデュース：田口義明
- お問い合わせ：090-3205-6111(田口義明 携帯)

※ 駐車場は向かいに美和会駐車場があります。
 ※ 植村公雄の作品は右記 QR コードからご覧いただけます。

